

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	15	担当部課名称	財務部資産税課
事務事業名	被災者生活再建支援システム		
見直しのタイトル	被災者生活再建支援システムの見直し		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

- ・平成28年度の熊本地震に伴う職員応援派遣による、現地での経験を踏まえ現在のシステム以外の方策を検討することを考えている。
- ・現在リース契約を行っている「被災者生活再建支援システム」はパソコン1台、スキャナー1台の構成であること、課税台帳に所有者のデータはあるが、住居者のデータは把握出来ていない。
例えば、アパートの住居者から、「り災証明」を求められた場合は、家屋データと住民のデータを照合する作業が必要となる。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】

他市でのシステムなどを調べるとともに、費用対効果を考えた方策を探る。

【具体的内容】

- ・平成30年度中においてリース契約が満了することから、他市の状況や熊本地震の応援派遣の経験を参考に再構築を図る。

3 改善により期待できる効果

【全体】

- ・リース料の削減

4 実施スケジュール（概要）

4月～7月	課題の洗い出し
7月	リース契約満了
8月～11月	次年度予算への反映
12月～3月	次年度以降の再構築の検討

5 実施結果の振り返り

リース契約終了後、被災者生活再建支援システムに代わるものを検討している。